



## SDGs の校内パネル展示終了（最終日 22 日）

**SDGs の基本理念** No one will be left behind. (誰も置き去りにしない)



13日より本校2階フロアで実施されていたSDGs, 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」についてのパネル展示を終了します。足を止めて、パネルを読んでいる生徒をよく見かけました。展示が終わっても、機会があればSDGsについて考えてみてください。この17分野169項目という多岐にわたる目標は、途上国だけでなく、先進国も生産・消費のあり方を変える必要があるなど、人々のライフスタイルにまで踏み込んだ世界で共有する大胆な挑戦と言えます。

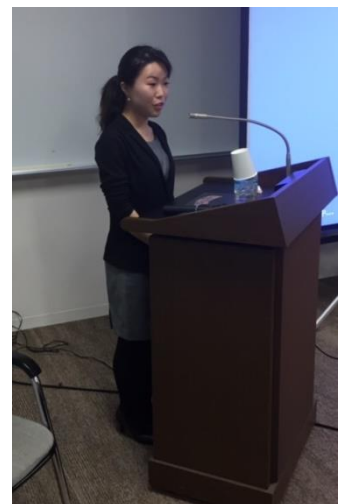
参考サイト（日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp/> 国連連合広報センター <http://www.unic.or.jp/>）

## ハーバード大学 現役学生 古川 あかり さん 講演会

ハーバード大学2年生の古川あかりさんに来校いただき、講演をいただきました。ハーバード大学在学中の方から直接お話を聞けるというのは大変貴重な機会でした。今回は他校からの参加者も多く、合計で29名にも及びました。関心の高さが伺えます。

古川さんからは、自身の高校生活についてのお話や、ハーバード大学入学までの道程、そして現在の学生生活などについて幅広くお話をいただきました。奨学金についてや実際の寮生活の様子についてなど、実際に入学を目指す生徒にとっては貴重な情報をたくさんいただきました。ハーバード大学には、24時間開いている図書館があり、午前2時でも満員の時があるそうです。「こんなに勉強をする人たちがいるんだ」と古川さんも驚かれたというお話が印象的でした。

他の都立校からもたくさんの参加者がありました。全部で6校で、生徒29名、教員3名でした。参加校は、青山高校、小石川中等教育学校、飛鳥高校、国際高校、小平高校、西高校。講演後も、個人的な質問がある生徒が列を作り、予定を1時間近く延びてしまいましたが、古川さんは快く丁寧に答えてくださいました。古川さんの将来の目標は、「教育の機会均等を実現する学校づくり」ということです。素晴らしい目標ですね。



(参加者の感想)

・今まで海外大学か日本の大学かどちらに進学すべきかとでも迷っていて、自分で本当にできるのかどうか不安でしたが、講演を聞いて本当に元気が出てきて、自分の将来について自信を持てるようになりました。

(小石川中等教育学校 Tさん)

・幸運にもハーバード大学生の話を聞くことができました。本当にうれしかったです。古川さんがハーバード大学の面接試験の時に、面接官に「ハーバード大学に入れなかったら不幸ですか？」と聞かれて、「いえ私はハーバード大学に入れなくても幸せに生きます」と答えたというのを聞いて、その前向きさに強く共感しました。(西高校 Sさん)

・Through the lecture, I had a good chance to think about “Who I am, “What I want to be,” “Which door I should open.” Thank you so much! (飛鳥高校 Gさん)

・私が漠然と思っていたハーバード大学のイメージと、古川さんの講演内容は180度違って、すごく興味深いものでした。一番印象に残っている言葉は、この講演のタイトルでもあった、「2つの道があったら、みんなが歩むほうではなくて、自分の道を行こう」ということでした。(小平高校 Aさん)

※ 参考までに、古川さんがタイトルとされた”The Road Less Traveled” というフレーズは、米国詩人 Robert

Frost (1874-1963)の詩” The road not taken” から着想を得られたものです。

## ➡ 韓国姉妹校「ミチュホル外国語高等学校」生徒から

10月14日から17日にかけて、姉妹校である韓国のミチュホル外国語高等学校生徒10名が来日し、日比谷高校でも交流を行いました。帰国後、アンケートに答えてくれました。日本語と英語で書いてくれました。とても充実した時間を過ごしてくれたようです。いくつかを抜粋して紹介します。

### 1. ホストファミリーとの交流は充実していましたか？

・ホストファミリーとの交流は本当に充実していました。私のホストファミリーは皆優しくて親切な人たちでしたので助かりました。そしてホストファミリーのおかげで日本の様々なものを楽しむことが出来ました。この場を借りてもう一度感謝の気持ちを伝えたいです。

・ We had quite a pleasant time during our four days in Tokyo. My host family was so kind to me and took care of me a lot.

### 2. 日比谷高校での授業参加は楽しかったですか？

・日比谷高校での授業参加は私にとって楽しくて有意義な時間でした。特に私が日ごろに関心のあった古典の授業が聞いて個人的に嬉しかったです。また、日本の授業の雰囲気を直接感じる事ができたのもよかったですと思います。

・ Yes it did. As classes were conducted in Japanese, it was a little bit hard to understand, but I was able to understand the contents thanks to my classmates, and it is an unforgettable memory. Also learning in another country's school culture was quite refreshing.

### 3. 日比谷高校でのSSH活動、そして部活動参加は楽しかったですか？

・日比谷高校でのSSH活動や部活動参加は日比谷高校の特色を見ることができてよかったです。見学がメインだった感じがちょっとしまったのでそこはすこし惜しかったと思います。でも、活動の内容は興味津々で面白かったし楽しかったです。

・ As my school does not focus on science, the SSH activities were quite amazing. I could learn much about Hibiya's science clubs and the sports club activities were so fun. In my school, there little time to play sports, so sports club was very exciting.

### 4. 日本の理解が深まりましたか？

・この交流を通じて日本の歴史や文化、社会を含む色々な分野での理解が深まりました。日本のことを一つの視線だけではなく、様々な視線で見えるようになりましたし、日本人々への親密感も増えました。この交流は私にとって日本を見せるもう一つの窓になってくれたといっても間違いありません。

・ Absolutely. I could learn a lot about authentic Japanese culture which is hard to learn at school. Also I could learn a lot about the Japanese way of thinking, way of speaking, table manners, etc.

### 5. 交流を終えて、感じたことを自由に書いてください。

・今度の交流を通して、私の日本語と英語の実力も増えましたが、一番大きく得たのは日本をもっと親しく感じるようになったものと日本をもっと勉強したくなってきたものです。このような機会をくださった私の母校であるミチュホル外国語高校の先生方々や充実した交流の場を作ってくださった日比谷高校の生徒や先生方々、真にありがとうございます。今後にも日本と韓国の架け橋になれるよう精一杯頑張ります。

・ During my four days, I could learn lots of things in Tokyo. The most impressive thing was the mood of Japan. It was what I couldn't feel when I visited Osaka on my school trip. I think it's because it was a homestay. I shared my daily life with host family, and they shared their daily life with me. So I could accept their culture, and this made my visit to Tokyo very special. In Hibiya High School, many students were kind to me and helped me a lot. Hibiya students gave us hospitality. I could feel their warm heart and I was very moved. My four days in Tokyo became a turning point for me, and it was a great honor.